

An aerial photograph of the Ise River basin, showing the river winding through a landscape of green fields, urban areas, and a large body of water at the bottom. The text is overlaid on the image.

第9回 五ヶ瀬川水系流域委員会

平成17年12月16日

平成17年9月4日～6日 台風14号気象情報

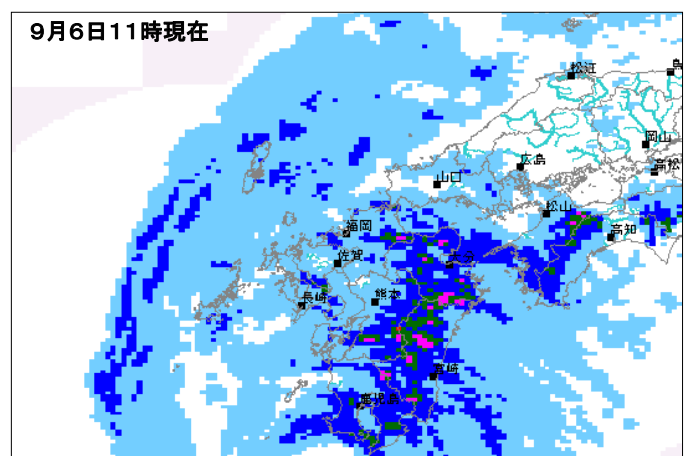
大型で強い台風14号は9月6日、宮崎県内を暴風雨域に巻き込みながら九州の西海上をゆっくりとした速度で通過し、県内の年間平均雨量の半分が3日間で降る記録的な豪雨となった。

宮崎県は5日午後6時頃に県南部から暴風域に入り、上鹿川で1,217mm、見立1,025mm、上祝子1,098mmに達し、3日間で平成5年の台風7号、平成9年の台風19号の記録を上回る量となった。

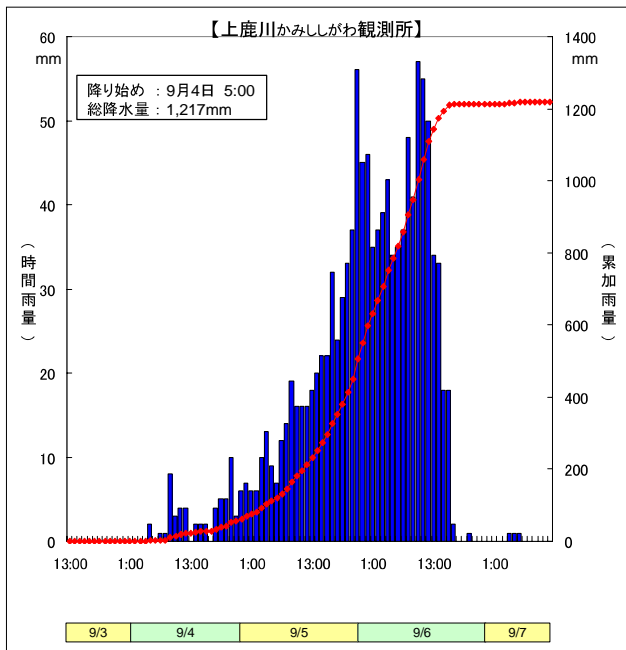
台風経路図



雨量レーダー



降雨状況

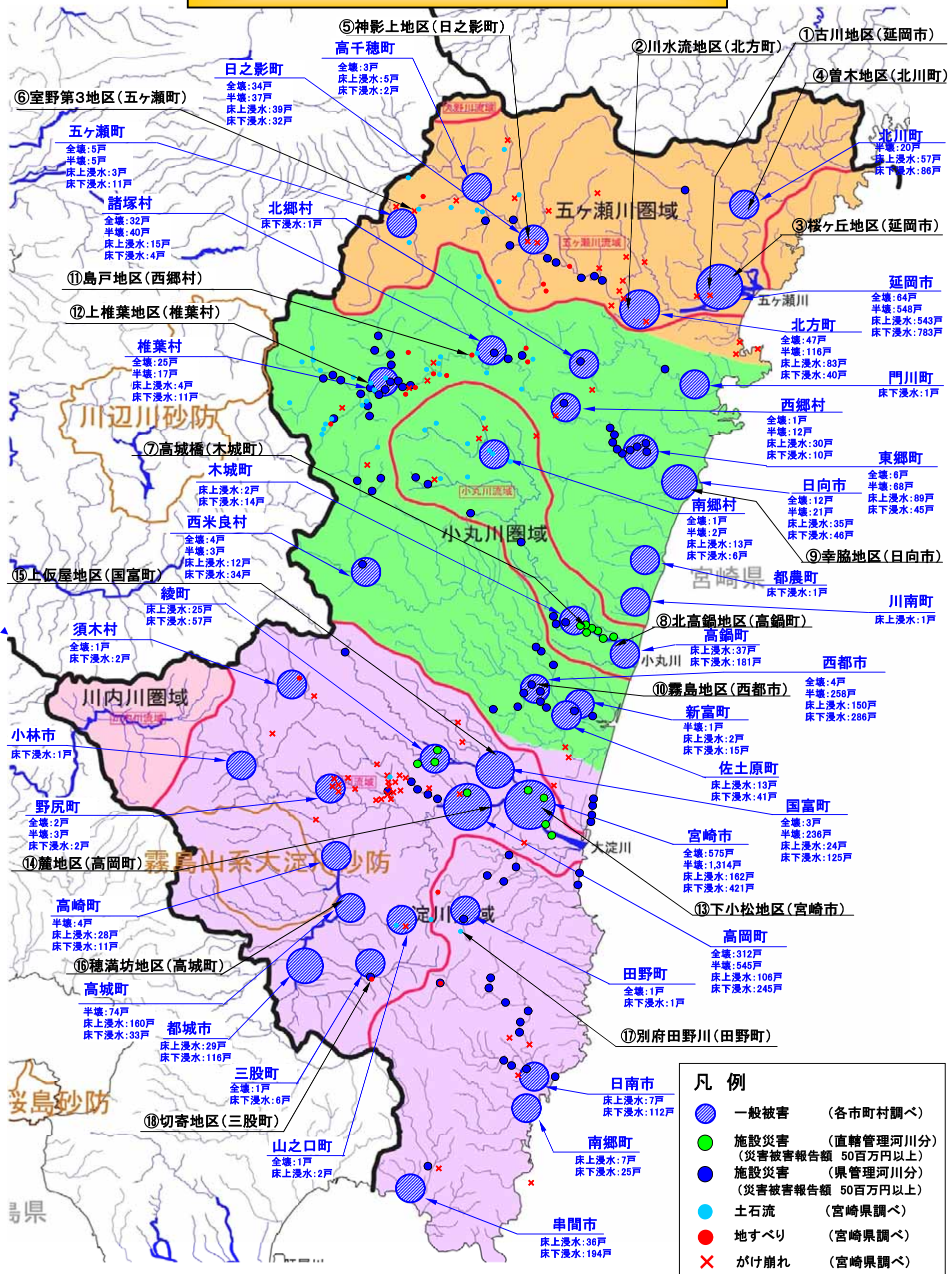


新聞記事

※タリデイリー提供



1. 平成17年度の水害・土砂災害の発生状況について (家屋浸水・災害発生箇所図)



1. 平成17年度の水害・土砂災害の発生状況について
(家屋浸水・災害発生状況写真)

五ヶ瀬川圏域



①五ヶ瀬川(延岡市古川地区)



②五ヶ瀬川(北方町川水流地区)



③祝子川(延岡市桜ヶ丘地区)



④北川(北川町曾木地区)



⑤日之影町神影上地区がけ崩れ



⑥五ヶ瀬町室野第3地区がけ崩れ

1. 平成17年度の水害・土砂災害の発生状況について
(家屋浸水・災害発生状況写真)

小丸川圏域



⑦小丸川(木城町高城橋)



⑧小丸川(高鍋町北高鍋地区)



⑨耳川(日向市幸脇地区)



⑩三財川(西都市霧島地区)



⑪西郷村島戸地区地すべり



⑫椎葉村上椎葉地区土石流

1. 平成17年度の水害・土砂災害の発生状況について
(家屋浸水・災害発生状況写真)

大淀川圏域



⑬大淀川(宮崎市下小松地区)



⑭瓜田川(高岡町麓地区)



⑮深年川(国富町上仮屋地区)



⑯大淀川(高城町穂満坊地区)



⑰田野町別府田野川土石流



⑱三股町切寄地区地すべり

平成17年9月4日～6日 台風14号出水状況 五ヶ瀬川



板田橋より上流を望む
(五ヶ瀬川3k400付近)



延岡市北小路
(五ヶ瀬川3k400付近)



延岡市北小路
(五ヶ瀬川3k400付近)



延岡市岡富町
(五ヶ瀬川4k300左岸)



延岡市岡富町
(五ヶ瀬川左岸 4k600付近)



延岡市岡富町
(五ヶ瀬川4k800左岸)



延岡市大貫町
(五ヶ瀬川4k400右岸)



延岡市大貫町
(五ヶ瀬川4k600右岸)



延岡市小峰町
(五ヶ瀬川6k800左岸)

平成17年9月4日～6日 台風14号出水状況 大瀬川・北川・祝子川



安賀多橋
(大瀬川3k400付近)



安賀多橋
(大瀬川3k400右岸)



旭化成取水口
(大瀬川3k400右岸)



大瀬橋
(大瀬川3k800右岸)



大瀬大橋
(大瀬川5k200右岸)



延岡市川島
(北川 3k000左岸)



北川町熊田
(北川 18k000付近)



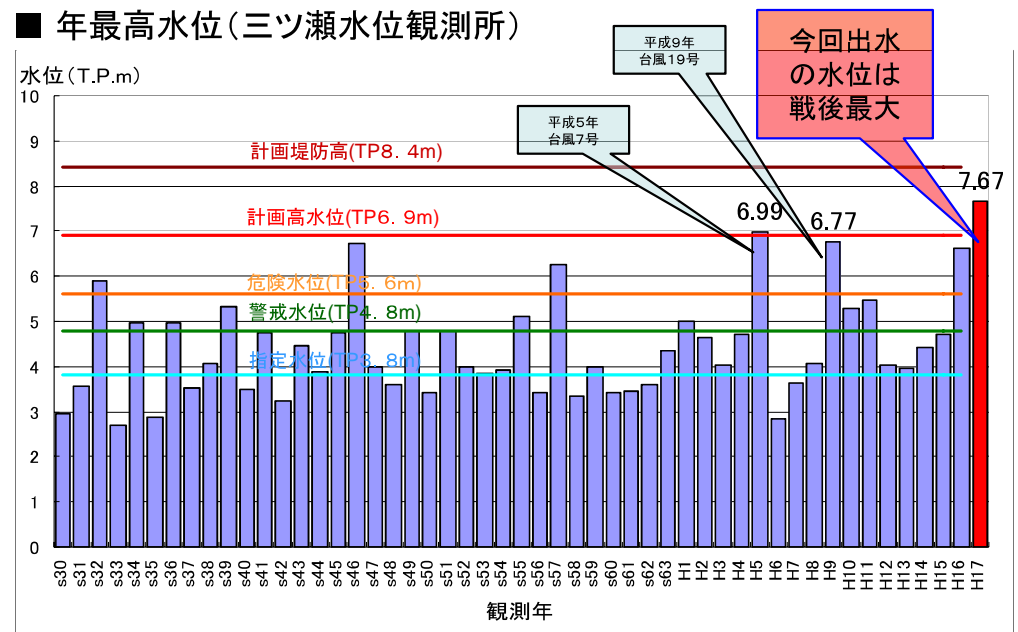
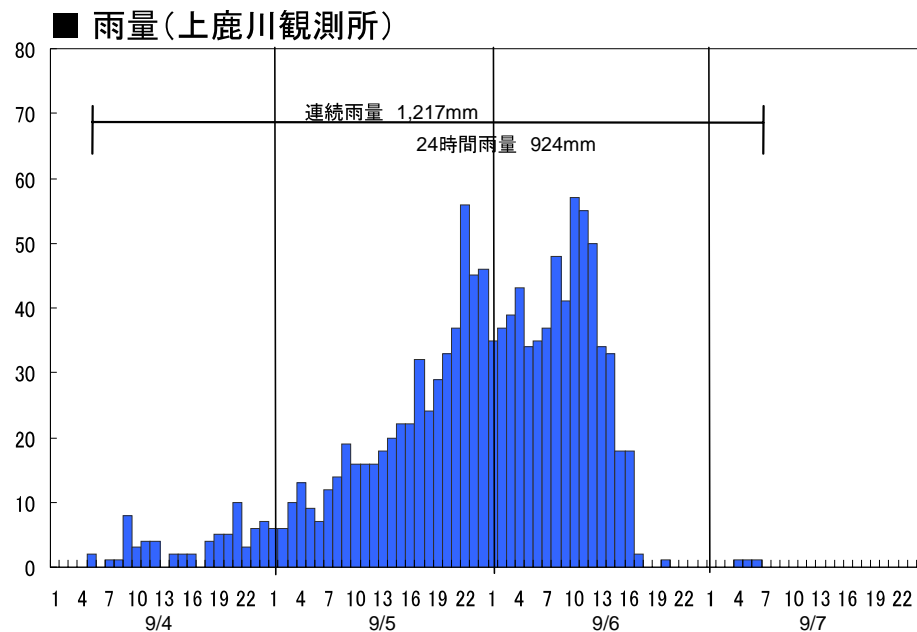
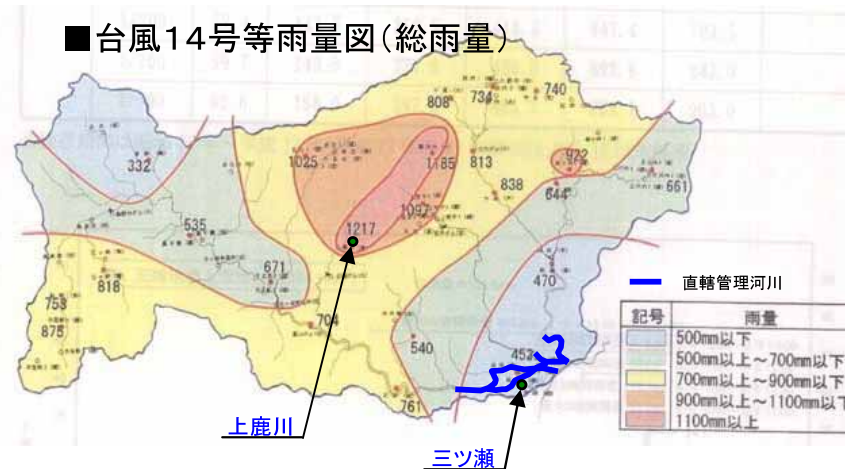
延岡市夏田
(祝子川 2k000右岸)



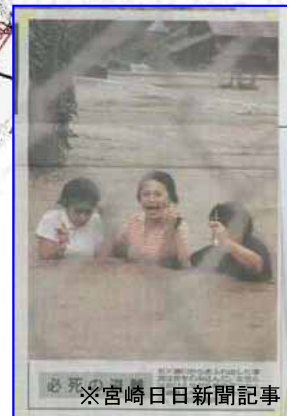
延岡市夏田
(祝子川支川蛇谷川)

観測史上、最高水位を記録

台風14号は、9月6日宮崎県内を暴風域に巻き込みながら、九州西海上を通過し、五ヶ瀬川流域では、上鹿川で1,217mm、見立1,025mm上祝子1,097mmを観測するなど記録的な豪雨をもたらした。
今回出水により五ヶ瀬川・大瀬川では軒並み既往最高水位を観測し、国管理区間内の5箇所で越水、また国管理区間で4箇所、宮崎県管理区間で1箇所の内水被害が発生。この出水により、**浸水面積431ha**、**床上浸水1,315戸**、**床下浸水399戸**に達する甚大な被害が発生した。



五ヶ瀬川の越水及び内水により、多くの浸水被害が発生



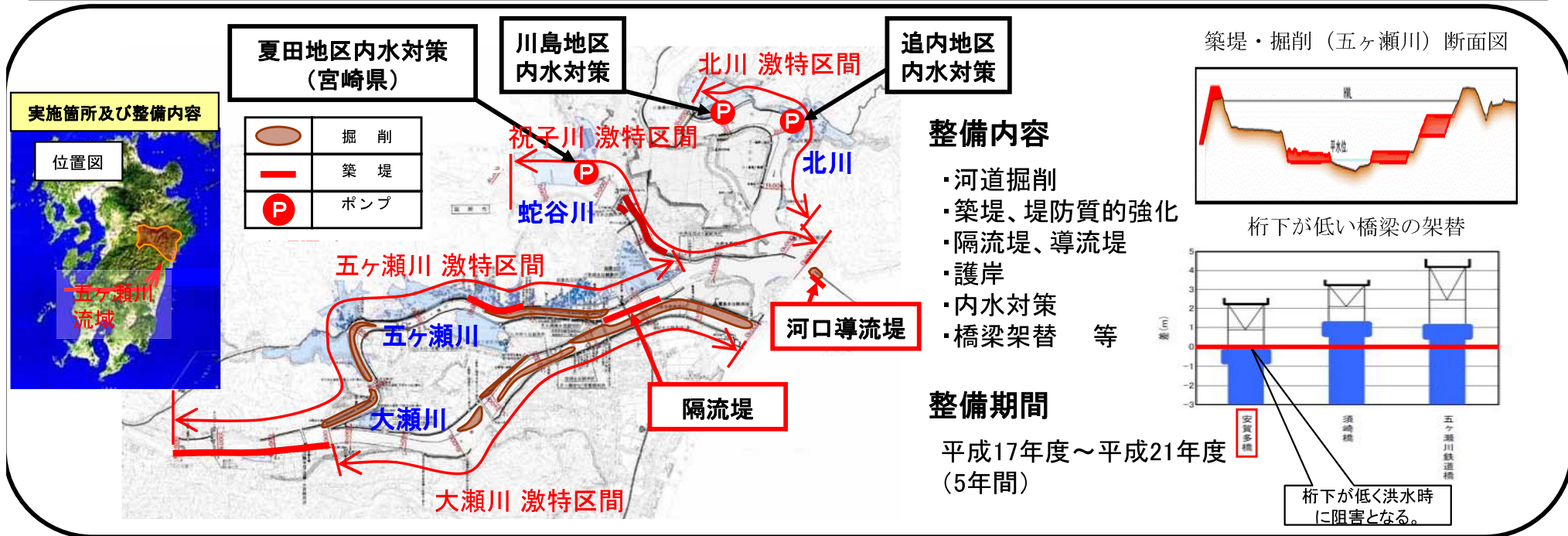
◎一般被害(宮崎県内五ヶ瀬川流域関係市町村)

市町村名	床上浸水	床下浸水
延岡市(対象区域)	1315	399
延岡市(上記以外)	85	9
北方町	224	37
北川町	55	87
日之影町	58	24

※国土交通省調べ

凡 例	
←	越水箇所
■	床上浸水範囲
○	床下浸水範囲
○	外水氾濫範囲

激特事業実施箇所と整備内容



ソフト対策

■水災害危機管理体制の確立

- ・被害軽減のための具体的方策や地域との連携（土地利用規制など）等により、災害に強い地域づくりの推進を図ることを目的とする「五ヶ瀬川浸水被害軽減対策委員会」を設立
- ・各防災機関及びライフライン関係機関等を結んだ、事務所独自の『危機管理システム』の本格運用
- ・県経由で情報伝達している伝達ルート補助として、同時に各自治体への直接伝達
- ・マスコミ（NHK、地元ケーブルテレビ等）への画像情報の提供

■ハザードマップ作成に関する市町村への支援強化

- ・五ヶ瀬川水系浸水想定区域図（H16,12,10公表）を活用し、自治体によるハザードマップ作成等、地域での避難計画の策定に向けた取り組みの支援強化

■水害に強い地域づくりへの支援（自治体と住民が一体となった取り組み）

- ・土地利用規制や建物のピロティ化など自治体による防災に関する取り組みを支援
- ・避難勧告、避難指示等の広報による避難に対する住民意識の改善
- ・高齢者等の災害要援護者対策として、登録制の導入等
- ・避難場所等の再検討
- ・その他（例：広報車増設、メール等情報発信）